



# 貫井の風



令和6年12月号②  
令和6年12月25日  
校長 佐藤 明子

<https://cms.nerima-tky.ed.jp/weblog/index-i.php?id=212>



## 温かい言葉で支え、包み、育てる

～令和6年を終えるにあたり～

校長 佐藤 明子

校庭に霜柱が時々、姿を現し、本格的な冬の到来を教えてくれています。同時に、令和6年を振り返る思いと新しい年を迎える期待感を募らせます。今年は、元旦に起きた能登半島地震で、多くの方が被災されたことに、深く心を痛む年の始まりになりました。そして、その能登地方は復旧・復興の歩みが進む中、9月下旬に今度は大雨による災害が発生しました。思いがけない被害に遭われた方々には、心からお見舞いを申し上げるとともに、今後もいつ起こるかわからない災害に向き合い、私たちの日常も防災・減災について考え、備えていくことが大切であることを実感しています。

さて年の瀬になりました。多くの家庭で行うことの一つに大掃除があります。この大掃除は家を守り、家族の心を豊かにしてくれる歳神様を迎える準備に始まったと、言われています。普段の掃除と違う意味があり、住まいに付いた煤(すす)とともに、厄(やく)を払い、健康で平穩に過ごした日常への感謝と、来る新年の幸福を願うという意味をもち、日本の古くからの風習です。本校でも昨日、2学期大掃除を、生徒と教職員が一緒になり、普段は行き届かない床の汚れ落としや机の綿ほり取りなどをして、令和7年を迎える準備をしました。学校は3学期制ですので、学期最終日前日に毎回『大掃除』を設定していますが、2学期の大掃除は、いつも以上に気持ちが込められた時間のように感じます。おかげさまで、校舎は、新年を気持ちよく迎える環境に整いました。

年の瀬の昔ながらの行動に、年賀状の送付があります。SNSの急激な発達により、新年に送られる葉書やカードを用いたあいさつ状を出す文化は、変化しました。日本の年賀状の由来は大変古く、奈良時代に年始回りという年始のあいさつする行事が基であると言われます。平安時代には、貴族や公家にこの習慣広がり、直接会って年始のあいさつができない遠方の人に対して、代わりに文書を贈ってあいさつを交わすことが年賀状につながったとも言われます。武家社会になると、飛脚や使用人を使った私的手段によって年始のあいさつは継承され、明治維新後は、郵便制度の確立により、今日の姿の郵便はがきの年賀状を送る習慣が、全国に広まりました。

私は毎年、送り先の人や家族のことを思い浮かべながら筆をとっています。様々な考えはありますが、私にとっては、学生時代に毎日一緒に時間を過ごし、共に泣き笑った旧友と1年に1回でも、この年賀状のやり取りで近況報告をしあう、日常と離れた大切な機会であると思っています。また、ちょっとした直筆から、ほっとした気分させてもらうこともあります。電子通信による言葉のやり取りとは違う、ぬくもりのような温かさを感じます。手紙を書くこと自体は小学校1・2年生の国語の時間で学び、英語の時間には国際郵便のことも学びますが、年賀状も含め、手紙を書くことを生活の中に取り入れ、大切にしていってほしいと思ったりもします。

パリ五輪男子バスケットボール日本代表で活躍した渡邊雄太選手は、今回の大会における自分を振り返り、高校時代のバスケットボール部の恩師からもらった『初心と謙虚』という言葉の力が大きかったと語っています。人の活躍や頑張りには、先輩や親、指導者がさりげなく掛けた温かい言葉の存在が大きいです。悲しい時や落ち込んでいるとき、ふさぎ込んでいるときに、ふとした言葉が勇気づけ、心を強くして自分を律してあげることがあります。《言葉の力》は、時にその人の人生の方向性を導くこともあるかもしれません。親として指導者として、そのような温かい言葉をどれだけ、近くにいる子供に贈ることができるのか、そしてそのことは子供の育ちの中でとても大切なことだと思えるのか、大人自身が自覚しなければならぬと強く感じています。12月・1月は、クリスマスやお正月と子供たちにとって、心躍る時間が続きます。普段、学習、部活動、お稽古ごと等、慌ただしくゆっくりと家庭で過ごすことができない分、年末年始はひとつ屋根の下で温かく豊かな、一家団らの時間になることを願っています。

令和7年を迎えるにあたり、子供たちが将来に向かって大きな夢と目標を掲げ、日々の努力を重ねていくよう、これからは家庭・地域・学校との連携を大切にしながら、教育の推進に努めてまいります。よいお年をお迎えください。

## 1月の主な予定

日	曜	主な行事等	相談
12/26	土	冬季休業始	
27	日		
1/6			
7	月		
8	火	冬季休業終	
9	水	3学期始業式、安全指導日	
10	木		
11	金	専門委員会	心ふれ
12	土		
13	日		
14	月(祝)	成人の日	
15	火		SC
16	水	私立高校推薦入試出願(3年)	心ふれ
17	木	避難訓練	
18	金	連合ダンス、英検	心ふれ
19	土		
20	日		
21	月	生徒朝会	心ふれ
22	火	展覧会準備	SC
23	水	展覧会、学校公開始 私立高校推薦入試(3年)	心ふれ
24	木	展覧会	
25	金	学校公開終	
26	土	私立高校一般入試出願始(3年)	
27	日	都立高校推薦入試(3年)	
28	月	朝礼、スキー移動教室事前検診(2年)	心ふれ
29	火		SC
30	水	スキー移動教室前日指導(2年)	心ふれ
31	木	スキー移動教室(~2/1(土))(2年) PTA給食試食会(11:30~13:15)	
	金	スキー移動教室(2年) 都立高校推薦入試発表(3年)	

- \* 今後、感染状況等により、予定が変更することがあります。変更した際は、お知らせします。  
\* 学年や学級による行事等の詳細については、各担当からのお知らせにてご確認ください。

### ◆◆◆ 1月の学校公開の予定 ◆◆◆

- ◆学校公開日 22日(水)~24日(金) 全学年対象  
\*来校時は、安全管理のため、「名札の着用」をお願いします。  
\*当日の授業内容は、改めて学年等から、お知らせします。



保護者の皆様におかれましては、日頃の健康管理を始め、公式戦・練習試合、表彰・発表等の会場に出向いて、熱い応援をいただきました。立派にやりきることができたのは、ご家庭の温かい支援あってのことです。感謝申し上げます。  
3学期も、さまざまな場面で、活動しますが、引き続き、貫井中学校生の活躍にご支援をよろしくお願いいたします。



### 令和6年度2学期

#### 部活動・諸活動の記録

惜しみない努力の末、実を結び、素晴らしい結果になりました。朝礼・生徒朝会にて数々の表彰を行いました。

- ★サッカー部  
令和6年度東京都サッカー新人大会練馬区予選 決勝トーナメント進出
- ★軟式野球部  
令和6年度練馬区中学校秋季新人大会 準々決勝敗退  
令和6年度多摩武蔵杯 決勝トーナメント進出
- ★卓球部  
〈男子〉  
令和6年度練馬区新人大会 個人戦:5位、ベスト32  
令和6年度練馬区研修大会 団体戦:準優勝  
〈女子〉  
令和6年度練馬区新人大会 個人戦:出場  
\*男子団体戦・個人戦、女子個人戦は都大会に出場
- ★柔道部  
〈男子〉  
第26回第3ブロック中学校新人大会  
団体戦:4位 令和6年度練馬区中学校総合体育大会  
66kg級:3位 55kg級:2位、3位 50kg級:2位  
第61回練馬区中学校生徒総合体育大会新人大会  
団体戦:出場 60kg級:優勝、2位 50kg級:3位  
〈女子〉  
第26回第3ブロック中学校新人大会  
団体戦:優勝  
63kg級:2位 57kg級:2位、3位 48kg級:優勝  
第61回練馬区中学校生徒総合体育大会新人大会  
団体戦:優勝  
63kg級:優勝 57kg級:優勝、2位 48kg級:優勝
- ★剣道部  
〈男子〉〈女子〉  
令和6年度練馬区秋季大会・ブロック大会 団体戦:出場
- ★バトミントン部  
〈男子〉〈女子〉  
令和6年度練馬区新人大会  
ダブルス・シングルス:ベスト16  
令和6年度練馬区冬季大会 2回戦進出
- ★バスケットボール部  
〈男子〉〈女子〉  
令和6年度練馬区中学校総合体育大会新人大会  
男女ともに2回戦進出



- ★吹奏楽部  
東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門 銀賞  
貫井町会 敬老会・親子スポーツ大会での演奏  
銀座ゴールデンパレード2024での演奏

- ★茶華道部  
免状取得の申請
- ★美術部  
個人のデザイン及び制作を進行

- ★英語部  
東京都英語学芸大会にて司会  
練馬区英語学芸会 Play出場  
貫井図書館での英語お楽しみ大会を実施

- ★パソコン部  
全国小中学校プログラミング大会に参加  
PCN子どもプログラマーフェアに参加

- ☆令和6年度中学生の「税についての作文」  
東京納税貯蓄組合総連合会会長賞受賞 3年生徒
- ☆令和6年度中学生の「税の標語」  
練馬東間税会賞受賞 2年生徒